

校長式辞 ―平成29年度茨城県立那珂湊高等学校入学式―

本日ここに、PTA会長をはじめ、多数のご来賓の皆様のご臨席を賜り、平成29年度茨城県立那珂湊高等学校の入学式を挙行できますことは、私ども教職員一同、大きな喜びでございます。心より厚く御礼申し上げます。

ただ今、入学を許可いたしました新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。那珂湊高校は、皆さんを心から歓迎いたします。また、ご列席の保護者の皆様に対しましても、心よりお慶びを申し上げます。

本校教職員を代表して、高校生としての第一歩を踏み出す新入生の皆さんに、いくつかの願いを申し上げます。

最初のお願いは、本日の入学式の意義をもう一度よく考えてほしいということです。私は、入学式は門出を祝う儀式である以上に、すべての生徒・保護者・教職員が一堂に会し、本校の教育に対する考え方を共有できる大切な機会・時間であると思っています。

新入生の皆さんの今、現在の気持ちは、どうでしょうか。今、どのような思いを頭に浮かべていますか。新しい友だちに出会える期待、高校生活に対する漠然とした不安、様々な思いが浮かんでいることと思います。

皆さんは、本校を志望校に選び、入学試験を突破し、本日、晴れて本校の生徒となりました。中には、違う高校に行きたいという思いがありながら、本校に入学した者もいるかもしれません。

でも、よく考えてみてください。一人が通える学校は、一つです。人生においては、それぞれの節目で一つしか選べない選択があり、何を選択したかによって歩む道が決まります。しかし、それだけで人生そのものが決まる訳ではありません。選択後に、何をしたかが大切になるのです。過去を振り返らず、私たちと一緒に、前に前に進んでいきましょう。

それでは、覚悟ができた皆さんに、那珂湊高校を紹介します。

本校は、平成21年度に、100年の歴史のある那珂湊第一高校と70年の歴史を持つ那珂湊第二高校が総合されて、新たに那珂湊高校としてスタートした学校です。

その時に、新たな校章とシンボルマークが決まりました。新たな校章は、校名変更を10回行ったことから形は十角形で、母なる海から育ち、ツバメのように海外に向かって飛躍する様子が表されています。シンボルマークは、人との協調・調和を那珂湊高校の「湊」の「M」を波としてイメージしたものとなっています。海のある町の環境と人々が協調し調和して、未来に向かって進んでいく様子をデザイン化しています。

校訓は、自主、勤勉、協和です。

さて、2つ目の願いをいたします。

それは、いま最後にお話しした校訓の一つ「自主」についてです。新入生の皆さんには、高校3年間で、自主性を身に付けてほしいということです。自分の将来のことを自分で決めることができるようになってほしい、高校卒業時の選択は、自主性に基づいたものであってほしいと思っています。

現代の子どもたちは、失敗させないように先回りする大人たちの過干渉により、自分で危険を予見することができずに行動する人間になっています。勉強はできても、行動は指示を待つのです。この傾向は、実は大人の世界にも当てはまっていると思っています。

この傾向を本校の教育で、少しでも変えて行きたいと思っています。

新入生の皆さん、まず手始めに、今日家に帰ったら、保護者の皆さんに、これまでの感謝の言葉と今後の決意を話してください。「私は3年間で卒業します」宣言でもよいのです。「きっと3年のうちには、途中で学校に行くのが嫌になったり、ねぼぼうして遅刻したりするかもしれないけど、入学時の約束は守ります。できないときは、叱ってください。」と。

保護者の皆さま、自主的に行動できる我が子を想像してください。きっと、頼もしく見えるはずです。

ここで、保護者の皆さまにも、お願いがございます。

自主性を育むために学校では、生徒に自分の方から過干渉を取り除くよう行動しなさいと教えます。学校では、これを授業、学校行事、部活動など学校教育活動のあらゆる場面で、繰り返し指導します。

時には、自主性を重視した学校のやり方が乱暴に見えることがあるかもしれませんが、保護者の皆さまには、どうか学校が行う自主性を育む教育をご理解のうえ、ご協力をお願いいたします。

新入生の皆さんに、本日、最後のお願いです。

自主性を逆手にとって、何でも自由でよいという考え方は間違いです。社会のルールなど、世の中には守らなければならないルールがあります。生徒の皆さん、学校のルールを守るようお願いいたします。

学校は、ダメなものはダメという姿勢で指導に当たりますので、保護者の皆さまのご理解をお願いいたします。

また、新入生のほとんどが高校入学を機にスマホを所持することになったと思います。私は、生徒たちがスマホへの依存症にならないようにする必要があると思っています。保護者としては、子どもがスマホにのめり込んでいる姿は、大きな不安、悩みの種です。今の世の中、便利さを手に入れた以上に、危険がたくさんあります。スマホに依存しないようにするのも、最終的には、生徒本人の意思の問題ですが、本校の自主性を育む教育が少なからず役立つと思っています。

本校は、県から学力向上推進校の指定を受けており、指定2年目の今年度は、ICT機器を新たに導入して、生徒が主体的に学ぶ授業への授業改善を目指します。

また、今年度は、新たに県から特色ある学校づくりの重点校指定を受け、これまで積み重ねてきたデュアルシステムを充実させるとともに、みなとちゃんキャラクターを活用した取組や企業とコラボした商品を道の駅や近隣コンビニエンスストアで販売するなどの新しい取組を行ってまいります。

さらに、グローバル化への対応として、校章にあるように海外にもこれらの取組を広げてまいります。新入生の皆さんには、これらの新しい取組にも積極的に参加して、自主性をさらに身に付けてください。

結びに、お預かりいたしますお子さまの教育には、本校教職員一同、精一杯努力してまいりますので、保護者の皆様におかれましても、学校への力強いご支援・ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

新入生の皆さんが、今日の日を忘れず、毎日元気に学校に通い、充実した高校生活が送れるよう祈念して、式辞といたします。

平成29年4月7日
茨城県立那珂湊高等学校
校長 武石 仁